

大学番号 014

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**事前伺い**

福島大学大学院 共生システム理工学研究科

環境放射能学専攻 (D)

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 福島大学  
令和3年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局 (課) 名

総務課

職名・氏名

フクカチョウ キムラマツミ  
副課長・木村真美

電話番号

024-548-8006

(夜間)

同上

e-mail

s-soumu@adb.fukushima-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

共生システム理工学研究科

＜環境放射能学専攻（D）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	10
6. 附帯事項等に対する履行状況等	17
7. その他全般的事項	18

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人福島大学

## (2) 大学名

福島大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒960-1296  
福島県福島市金谷川1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ミウラ ヒロキ) 三浦 浩喜 (令和2年4月)	該当なし	
研究科長	(サトウ ミチオ) 佐藤 理夫 (令和2年4月)	(ナガハシ ヨシタカ) 長橋 良隆 (令和3年5月)	研究科長変更のため 令和3年5月1日(3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)  
令和3年度に報告する内容 → (3)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員		
共生システム理工学研究科 環境放射能学専攻  博士(理工学)	理学関係	3	2		6		
	工学関係						

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和3年度										平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	2 ( - ) [ - ]										0.50 倍	一倍	合格者2名とも入学手続を完了していたが、手続完了後に1名の辞退があった。
志願者数	2 ( - ) [ 1 ]												
受験者数	2 ( - ) [ 1 ]												
合格者数	2 ( - ) [ 1 ]												
B 入学者数	1 ( - ) [ 1 ]												
入学定員超過率 B/A	0.5												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から計算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和3年度										備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
1年次	1 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )					
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )					
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )					
4年次	/		/		/						
計	1 [ 1 ] ( - )		[ ] ( )		[ ] ( )						

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和3年度	1人	0人	令和3年度	0人	0人	
合計		0人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

$$\frac{\quad}{\quad} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

$$\frac{\quad}{\quad} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

$$\frac{\quad}{\quad} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

$$\frac{\quad}{\quad} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<共生システム理工学研究科 環境放射能学専攻>

### (1) ① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
基礎科目	《生態学分野》										
	放射生態学特別演習Ⅰ	1前	2			1	1		1		
	放射生態学特別演習Ⅱ	1後	2			1	1		1		
	《モデリング分野》										
	放射能動態解析特別演習Ⅰ	1前	2			2	1	2			
	放射能動態解析特別演習Ⅱ	1後	2			2	1	2			
	《計測分野》										
	放射能計測特別演習Ⅰ	1前	2			2	1				
放射能計測特別演習Ⅱ	1後	2			2	1					
小計(6科目)	-		12			5	3	2	1		
応用科目	環境放射能特別演習Ⅰ	2前	2			5	3	2	1		
	環境放射能特別演習Ⅱ	2後	2			5	3	2	1		
	環境放射能特別演習Ⅲ	3前	2			1	1	1			
	サイエンスコミュニケーション特別演習	3後	2			1					
小計(4科目)	-	8			5	3	2	1			
講究科目	環境放射能特別研究	1~3歳	6			5	3				
小計(1科目)	-	6			5	3					
合計(11科目)	-	14	12			5	3	2	1		
卒業要件及び履修方法											
基礎科目6科目中、3科目を選択し6単位、応用科目必修8単位、講究科目必修6単位、合計20単位以上修得し、本大学院が行う博士論文審査に合格すること。											

#### 【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
基礎科目	《生態学分野》										
	放射生態学特別演習Ⅰ (未開講)	1前	2			1	1			2	
	放射生態学特別演習Ⅱ	1後	2			1	1			2	
	《モデリング分野》										
	放射能動態解析特別演習Ⅰ	1前	2			2	2	3			
	放射能動態解析特別演習Ⅱ	1後	2			2	2	3			
	《計測分野》										
	放射能計測特別演習Ⅰ (未開講)	1前	2			2	2	1			
放射能計測特別演習Ⅱ	1後	2			2	2	1				
小計(6科目)	-		12			5	5			2	
応用科目	環境放射能特別演習Ⅰ	2前	2			5	5			2	
	環境放射能特別演習Ⅱ	2後	2			5	5			2	
	環境放射能特別演習Ⅲ	3前	2			1	2				
	サイエンスコミュニケーション特別演習	3後	2			1					
小計(4科目)	-	8			5	5			2		
講究科目	環境放射能特別研究	1~3歳	6			5	5				
小計(1科目)	-	6			5	5			2		
合計(11科目)	-	14	12			5	5			2	
卒業要件及び履修方法											
基礎科目6科目中、3科目を選択し6単位、応用科目必修8単位、講究科目必修6単位、合計20単位以上修得し、本大学院が行う博士論文審査に合格すること。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和3年度】**

- ・ 令和3年4月専任教員等の職名変更及び担当教員採用に伴い次のとおり変更。
- ・ 「放射生態学特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・ 「放射生態学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・ 「放射能動態解析特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1 講師2」から「准教授3」に変更。
- ・ 「放射能動態解析特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1 講師2」から「准教授3」に変更。
- ・ 「環境放射能特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3 講師2 助教1」から「准教授5 助教2」に変更。
- ・ 「環境放射能特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3 講師2 助教1」から「准教授5 助教2」に変更。
- ・ 「環境放射能特別演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1 講師1」から「准教授2」に変更。
- ・ 「環境放射能特別研究」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授5」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	6 科目	科目	11 科目	5 科目 [ ]	6 科目 [ ]	科目 [ ]	11 科目 [ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)



(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	その他の内、 借地19,187㎡ を含む 借用期間：20年			
	校舎敷地	170,811㎡	0㎡	0㎡	170,811㎡				
	運動場用地	81,940㎡	0㎡	0㎡	81,940㎡				
	小 計	252,751㎡	0㎡	0㎡	252,751㎡				
	そ の 他	199,330㎡	0㎡	0㎡	199,330㎡				
	合 計	452,081㎡	0㎡	0㎡	452,081㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		76,079㎡ ( 76,079㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	76,079㎡ ( 76,079㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	34室	62室	95室	9室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員1名増及び研究室割当変更のため(3)			
	共生システム理工学研究科 環境放射能学専攻			10 12 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位での特定が不能なため、大学全体の数	
		冊	種	〔うち外国書〕					
	共生システム理工学研究科 環境放射能学専攻	950,000 [237,140] (958,833 [236,638])-(944,203) -(235,782)	13,714 [2,773] (13,522 [2,731]) -(13,694) -(2,765)	9,000 [9,000] (21,064) [21,064])9,132 -(9,132)	4,525 (4,657)(4,365)	0 (0)	0 (0)		
	計	950,000 [237,140] (958,833 [236,638])-(944,203) -(235,782)	13,714 [2,773] (13,522 [2,731]) -(13,694) -(2,765)	9,000 [9,000] (21,064) [21,064])9,132 -(9,132)	4,525 (4,657)(4,365)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	10,084㎡		664席	1,113,194冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	3,778㎡		陸上競技場、野球場、サッカー・ラグビー場、テニスコート、バレーボールコート、弓道場、ハンドボール場、水泳プール、馬術場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学等の名称	福島大学					平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号						
人文社会学群	4	685	3年次30人	2,880		1.02	1.03			—	
人間発達文化学類	4	260	3年次10人	1,070	学士(発達文化)	1.02	1.03	令和元年度	平成17年度	福島県福島市金谷川1番地	定員変更(△30)
行政政策学類	4	185	3年次10人	785	学士(法学)(社会学)	1.03	1.04	令和元年度	平成17年度	同上	定員変更(△25)
行政政策学類 夜間主コース	4	20	—	60	学士(法学)(社会学)	1.08	1.10	令和元年度	令和元年度	同上	定員変更(20)
経済経営学類	4	220	3年次10人	905	学士(経済学)	1.01	1.03	令和元年度	平成17年度	同上	定員変更(△25)
夜間主コース	4	—	—	60	学士(発達文化)(法学)(社会学)(経済学)	1.01	—		平成17年度	同上	令和元年度学生募集停止
理工学群	4	160	—	660		1.04	1.06			—	
共生システム 理工学類	4	160	—	660	学士(理工学)	1.04	1.06	令和元年度	平成17年度	福島県福島市金谷川1番地	定員変更(△20)
農学群	4	100	—	300		1.04	1.04			—	
食農学類	4	100	—	300	学士(農学)	1.04	1.04	令和元年度	令和元年度	福島県福島市金谷川1番地	定員変更(100)
大学全体	4	945	30	3,840	—	1.03	1.04	—	—	—	
大学院											
人間発達文化研究科										—	
教職実践専攻	2	16	—	32	教職修士(専門職)	0.75	0.75		平成29年度	福島県福島市金谷川1番地	
地域文化創造専攻	2	17	—	34	修士(地域文化)	1.02	1.00		平成21年度	同上	
学校臨床心理専攻	2	7	—	14	修士(教育学)	1.06	0.85		平成21年度	同上	
地域政策科学研究科										—	
地域政策科学専攻	2	20	—	40	修士(地域政策)	0.32	0.35		平成5年度	福島県福島市金谷川1番地	
経済学研究科										—	
経済学専攻	2	10	—	20	修士(経済学)	0.85	0.50		昭和51年度	福島県福島市金谷川1番地	
経営学専攻	2	12	—	24	修士(経済学)	0.58	0.58		昭和61年度	同上	
共生システム 理工学研究科										—	
共生システム 理工学専攻	2	53	—	106	修士(理工学)	0.78	0.92	令和元年度	平成20年度	福島県福島市金谷川1番地	
環境放射能学 専攻	2	7	—	14	修士(理工学)	0.28	0.42	令和元年度	令和元年度	同上	
共生システム 理工学専攻	3	4	—	16	博士(理工学)	0.75	1.25		平成20年度	同上	定員変更(△2)
環境放射能学 専攻	3	2	—	2	博士(理工学)	0.50	0.50	令和3年度	令和3年度	同上	定員変更(2)

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。  
 ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

＜共生システム理工学研究科 環境放射能学専攻＞

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (専攻長)	塚田 祥文 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		放射能計測特別演習Ⅰ※ 放射能計測特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別演習Ⅲ※ サイエンスコミュニケーション 特別演習 環境放射能特別研究
専	教授	Vasyl Yoschenko ＜令和3年4月＞ Ph. D. Biology (烏国)
		放射生態学特別演習Ⅰ※ 放射生態学特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	特任教授	Mark Zheleznyak ＜令和3年4月＞ Ph. D. Fluid Mechanics (烏国)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	特任教授	Aleksei Konoplev ＜令和3年4月＞ Doctor of Science in Radiobiology(露国)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	特任教授	鳥居 建男 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		放射能計測特別演習Ⅰ※ 放射能計測特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	准教授	和田 敏裕 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		放射生態学特別演習Ⅰ※ 放射生態学特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別演習Ⅲ※ 環境放射能特別研究

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (専攻長)	塚田 祥文 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		放射能計測特別演習Ⅰ※ 放射能計測特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別演習Ⅲ※ サイエンスコミュニケーション 特別演習 環境放射能特別研究
専	教授	Vasyl Yoschenko ＜令和3年4月＞ Ph. D. Biology (烏国)
		放射生態学特別演習Ⅰ※ 放射生態学特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	特任教授	Mark Zheleznyak ＜令和3年4月＞ Ph. D. Fluid Mechanics (烏国)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	特任教授	Aleksei Konoplev ＜令和3年4月＞ Doctor of Science in Radiobiology(露国)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	特任教授	鳥居 建男 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		放射能計測特別演習Ⅰ※ 放射能計測特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	准教授	和田 敏裕 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		放射生態学特別演習Ⅰ※ 放射生態学特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別演習Ⅲ※ 環境放射能特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	Ismail Md. Mofizur Rahman <令和3年4月> 博士(学術)
		放射能計測特別演習Ⅰ※ 放射能計測特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	特任准教授	高田 兵衛 <令和3年4月> 博士(水産科学)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	講師	平尾(久保) 茂一 <令和3年4月> 博士(工学)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ
専	講師	脇山 義史 <令和3年4月> 博士(理学)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別演習Ⅲ※
専	特任助教	石庭 寛子 <令和3年4月> 博士(学術)
		放射生態学特別演習Ⅰ※ 放射生態学特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	Ismail Md. Mofizur Rahman <令和3年4月> 博士(学術)
		放射能計測特別演習Ⅰ※ 放射能計測特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	特任准教授	高田 兵衛 <令和3年4月> 博士(水産科学)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	准教授	平尾(久保) 茂一 <令和3年4月> 博士(工学)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ <b>環境放射能特別研究</b>
専	准教授	脇山 義史 <令和3年4月> 博士(理学)
		放射生態学特別演習Ⅰ※ 放射生態学特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別演習Ⅲ※ <b>環境放射能特別研究</b>
専	特任助教	石庭 寛子 <令和3年4月> 博士(学術)
		放射生態学特別演習Ⅰ※ 放射生態学特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ
専	特任助教	<b>五十嵐 康記</b> <b>&lt;令和3年4月&gt;</b> <b>博士(農学)</b>
		放射生態学特別演習Ⅰ※ 放射生態学特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ



(1) 一②担当教員表に関する変更内容

**【令和3年度】**

- ・令和3年4月平尾（久保）茂一教員の職名変更（講師→准教授）令和3年3月教員審査済。
- ・令和3年4月脇山義史教員の職名変更（講師→准教授）令和3年3月教員審査済。
- ・令和3年4月五十嵐康記特任助教採用。令和3年3月教員審査済。
- ・令和3年4月横尾善之兼任教員の職名変更（准教授→教授）。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	3	2	1	11	0	5	5	0	2	12	0
(5)	(3)	(2)	(1)	(11)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
8	3	0				10	2	0			
(10)	(2)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
5	5	0	2	12	0	4	6	0	2	12	0
[ 0 ]	[ 2 ]	[ Δ2 ]	[ 1 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 3 ]	[ Δ2 ]	[ 1 ]	[ 1 ]	[ 0 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
10	2	0				10	2	0			
[ 2 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]				[ 2 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{11} = \boxed{109.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{12} = \boxed{25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	#####	科目	必修	#####	科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	#####	科目	選択	#####	科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	#####	科目	自由	#####	科目
		計	#VALUE!	科目	計	#####	科目	計	#####	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{11} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

□人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和2年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

＜共生システム理工学研究科 環境放射能学専攻＞

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学では恒常的なFD活動を実施するため、令和元年度の全学再編時に設置した「教育推進機構 高等教育企画室」において全学FDの企画・立案を行い、その実施を全学教務協議会が担う体制に移行した。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>令和2年度、高等教育企画室会議は教育・学生担当副学長、基盤教育主管、企画室所属教員、教務課長を構成員として毎月1回の頻度で年間9回開催した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>1) 教育推進機構高等教育企画室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等教育政策及び実践の分析に関すること。</li> <li>・ファカルティ・ディベロップメントの取組に関すること。</li> <li>・機関調査及び学生調査に関すること。</li> <li>・その他企画室の目的を達成するために必要な業務</li> </ul> <p>2) 全学教務協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学の教務管理に関すること。</li> <li>・全学の内部質保証の実施に関すること。</li> <li>・全学の非常勤講師計画に関すること。</li> <li>・単位互換の実施に関すること。</li> <li>・学類教育と基盤教育との調整に関すること。</li> <li>・シラバス及びナンバリングに関すること。</li> <li>・学務情報統合システムに関すること。</li> <li>・その他必要と認められる事項</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>令和2年度は、全学的に以下の取組みを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 教育改善のための学生アンケート（前期開講科目・後期開講科目）を実施した。</li> <li>・令和元年度に実施した「平成28～30年度 福島大学の教育に関する卒業生・大学院修了生アンケート調査」及び「平成28～30年度 就職先企業等・公共機関に対する大学・大学院教育の成果に関するアンケート調査」の分析を行った。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年度前期授業は全て遠隔授業で実施することとなったため、遠隔授業の開始前に、学生に「PCの保有状況、ネットワーク環境に関するアンケート調査」を実施した。また、前期遠隔授業の終了後、学生に「遠隔授業に関するアンケート調査」を実施した。</li> <li>・全学FD研究会を開催した。</li> <li>・令和3年度開講科目に係るシラバス点検を実施した。</li> </ul> <p>b 実施方法</p>
---

・令和2年度の教育改善のための学生アンケートは、前期分を7月、後期分を1月に、教務情報システムを使用してwebアンケートにより実施した。

・令和元年度に実施した「卒業生・大学院修了生アンケート」及び「就職先企業等・公共機関アンケート」は、過去3年間の学部卒業生・大学院修了生及び就職先機関を対象にwebアンケートにより実施した。

・遠隔授業の開始前に行った「PCの保有状況、ネットワーク環境に関するアンケート調査」及び遠隔授業終了後に行った「遠隔授業に関するアンケート調査」は、本学生を対象にwebアンケートにより実施した。

・全学FD研究会は、全教員を対象として開催し、基盤教育（科目グループ別）及び専門教育（学類別）の各分野について分科会形式によるカリキュラムの分析・検討を行った。また、令和2年度は遠隔授業の実施状況についても意見交換した。

・令和3年度からシラバス書式を一部見直し、令和3年度開講科目のシラバス記載状況について「シラバス記入要領」に基づき各学類・高等教育企画室の2段階で点検し、記載内容の適性化を図った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・令和2年度的全学FD研究会は10/29（木）に開催し、当日192名の教員が参加した。午前は基盤教育の各科目グループ別に、午後は学類の専門教育分野別に当該カリキュラムの概要・望ましい水準・成績評価の方法・割合の状況について議論し共通理解を図った。また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として初めて遠隔授業を実施したことから、遠隔授業の実施状況やノウハウ等について、教員相互に意見交換した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・教育改善のための学生アンケートの集計結果は科目担当者に提供され、授業改善の取組みに活用している。

・卒業生アンケート及び就職先企業等アンケートの分析結果を報告書として取りまとめ、教育研究評議会にて報告した。報告書の内容は全学で情報共有し、全学レベル及び各学類レベルのFD活動に活用している。

・遠隔授業の開始前に行った「PCの保有状況、ネットワーク環境に関するアンケート調査」を踏まえて、学生向けにPC貸与やPC教室開放等の対策を講じた。また、遠隔授業期間終了後に行った「遠隔授業に関するアンケート調査」については、学生の満足度、満足・不満足のポイントやクロス集計の傾向等の分析結果が10月開催の全学FD研究会で報告され、遠隔授業について教員相互に意見交換する際の貴重な資料となった。

・全学FD研究会は、全学の教員が一堂に会してカリキュラムの課題や改善策を共有する契機となった。今後も引き続き全学レベル及び学類レベルのFD活動を展開し、授業改善を通じて教育の質の維持・向上を図ることとしている。

・シラバス点検の結果、新たなシラバス書式に沿って記載内容の適正化や成績評価基準の統一化が図られた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・本学では、各セメスター終盤に「教育改善のための学生アンケート」を実施している。令和2年度は前期分を7月に、後期分を1月に実施した。次年度以降も引き続き実施することとしている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

・本学では、毎年作成する「福島大学FD活動報告書」に教育改善アンケートの集計結果を掲載してホームページ上で公開してきた。今後も引き続き実施することとしている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
博士後期課程については設置したばかりであり、実施していない。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期  
・ 令和3年度中（令和4年3月末）に公表予定
- b 公表方法  
・ 大学ホームページ上に公開予定（令和4年3月末を予定）
- ③ 認証評価を受ける計画  
・ 令和3年度（2021年度）に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の大学機関別認証評価を受審

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和3年度）
- a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]
- ≪ aで「有」の場合≫
- b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]
- c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]
- ≪ aで公表「無」の場合≫
- d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。